

丹南産業フェア2009開催

約十万人の人で賑わう

九月十九日(土)～二十一日(祝)の三日間、丹南産業フェア二〇〇九が、サンドーム福井で開催されました。今年のテーマは「越前ブランドでつなぐ丹南産業フェア」、サブテーマは「世界に翔く丹南のものづくり」。総入場者数は延べ十万人七百人。約百六十五の業者、団体が参加。

今年は世界でも一流の感性が認められるオンラインワン技術にスポットを当て、既に世界に先駆け発信しているもの、これから高評価を受けそうなものをサンドーム館内中央にテーマゾーンを設け紹介しました。加えて、越前ブランドクラフトコンペは、テーマを「現代のライフスタイルに合せた生活用品」とし、第一次審査を通過した作品を展示しました。



丹南産業フェア2009テープカット



2010全国コンペグランプリに輝いた合田さんと作品

また、ステージイベントではファッションショーをはじめ、OSKミニレビューショー、ちびっ子音楽祭、仁愛大学和太鼓、武生商業吹奏楽部



北野大氏のもんじゅフォーラム

演奏、北野大氏をゲストに迎えたもんじゅフォーラムなどが行われ、鯖江商工会議所女性会による喫茶・バザーやサービス業部会が中心のチャリティーカットフェスティバル。交通業部会のマイカーエコ点検。体験コーナー(伝統工芸・菓子作り)、刃物研ぎ直しコーナー、丹南の味覚を味わえる飲食コーナーなど多数の参加者来場者を楽しませました。

女性会

アドレス交換は赤外線

携帯電話の機能を学ぶ女性会

去る八月二十七日(木)、当所女性会(内田陽子会長)は、現代の生活に欠かせない携帯電話の機能を学ぶと、研修会を開催しました。

講師には、(株)DIPのプラウザ事業部 大葎原高昌氏の他、高専の学



アンケートに答える大葎原氏

生五名が加わり、今まで知らなかった機能や、使いこなせていない機能を学びました。研修会は、事前に行なったアンケート

県知事賞に山本 勝氏



大皿「風動」

九月十一日(金)、うるしの里会館において、平成二十一年度越前漆器展覧会が開催。伝統的吉野漆・現代漆器・素地部門にて、山本猛審査長(大阪芸術大学デザイン学科講師)

越前漆器展覧会

ら十五名が審査を行いました。同展覧会は新しい意匠、卓越した技術による優秀作品を一堂に展示発表し、その品質、技術、デザイン性、商品性を競うことにより、新商品開発、生産意欲の向上を図り、併せて現代に生きる漆器の姿を広く社会に浸透させ需要の開拓に資するため毎年開催され、今回で五十九回目の開催となります。

本年は七十八点の応募があり、厳正な審査の結果、伝統的工芸品部門では福井県知事賞に山本勝さんの大皿「風動」。現代漆器部門では金賞(有)山口工芸の酒器「静酔」大・朱が輝きました。

全女連総会長野大会に

当会より十二名が参加

九月四日(金)・五日(土)と全国商

工会議所女性会連合会総会長野大会に、当会から十二名が参加しました。善光寺参拝を済ませ会場のエムウエーブへ。会場は、長野オリンピック会場だっただけに広く、全国三百九十女性会、約三千三百有余名の会員が一堂に会し、総会・大懇親会が開

催されました。

吉川全女連会長・岡村日商会頭・室賀長野県女連会長他挨拶の後、来賓各位が祝辞を述べ、退席の後各表彰が行なわれました。

記念講演は「幸せの探し方教えます」と題し、医師・作家の鎌田實氏が講演。約三十八億年前、生命体



長野大会に参加した女性会員

ができてから、人間になるまで様々な変化を遂げ色んな分子を持っている。人間は本来温かい感情を持っているはずであり、それを忘れなければ幸せは身近にある」と語りました。大懇親会では、参加者全員が着席して行なわれ、大いに交流を図りました。



鯖江市田村町3-4

さばえ交通グループ

鯖江交通(株)観光バス
さばえ交通レンタカー
さばえ交通トラベル

本社 ☎ 0778 62-3656 FAX 62-3657
☎ 0778 62-1156 FAX 62-1167

税務全般 / 経営診断 / 社保年金

税理士法人 川中経営

代表社員 税理士 川中 洋一
税理士 川中 重司 ITコーディネータ
税理士 川中 清司 中小企業診断士
社会保険労務士 川中 洋子 社会保険労務士

鯖江市本町4丁目10-7(商工会館北)
電話0778-51-0600 URL http://www.kawanaka-keiei.jp